

会社概要 (2017年3月31日現在)

商号	株式会社和井田製作所 (英文社名: WAIDA MFG. CO., LTD.)
所在地	〒506-0824 岐阜県高山市片野町2121番地
設立	1946年10月22日
資本金	8億4,330万円
従業員数	165名(連結) 137名(単体)
連結子会社	ジャパン・イー・エム株式会社 和井田友嘉精機股份有限公司(台湾)

役員 (2017年6月20日現在)

代表取締役会長兼社長	和井田 光 生
取締役副社長	久保 朝 義
取締役	洞 口 秀 臣
取締役	藤 井 啓 太
取締役	森 下 博
取締役(監査等委員)	田 村 孝 至
取締役(監査等委員)	渡 邊 一 (弁護士)
取締役(監査等委員)	山 下 英 一 (税理士)

(注) 渡邊一氏及び山下英一氏の両名は、社外取締役であります。
両名を独立役員として指定し、東京証券取引所に届け出ております。

株式の状況 (2017年3月31日現在)

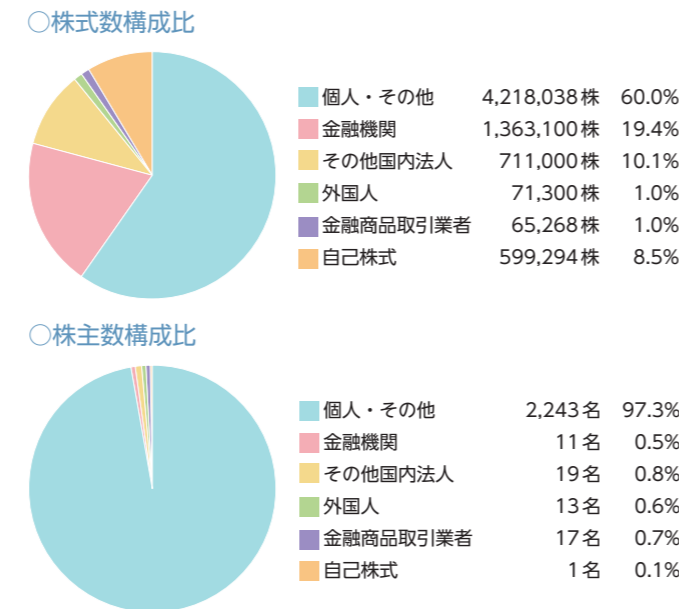
発行可能株式総数	24,000,000株
発行済株式の総数	7,028,000株(自己株式599,294株を含む)
株主数	2,304名

大株主(上位10名)

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
和井田 叔生	430,060	6.68
和井田 光生	426,500	6.63
株式会社十六銀行	321,300	4.99
株式会社三菱東京UFJ銀行	321,000	4.99
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	289,600	4.50
和井田 叔子	250,000	3.88
和井田製作所従業員持株会	204,000	3.17
株式会社ナガセスッポン養殖場	159,200	2.47
和井田 克子	121,200	1.88
株式会社大野光	121,000	1.88

(注) 持株比率については、自己株式(599,294株)を控除して算出しております。

株式分布状況 (2017年3月31日現在)



本社・本社工場
(岐阜県高山市)

ごあいさつ



代表取締役会長兼社長
和井田 光生

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼を申し上げます。

第88期(2016年4月1日から2017年3月31日まで)は、国内外ともに緩やかな景気回復基調が続く一方で下振れ懸念を払拭できない状態が継続しており、先行きの不透明感から設備投資に慎重な動きが続き、このような状況のもと、当社グループの業績も売上・利益ともに前期を下回る結果となりました。

第89期も引き続き先行きの不透明な状況下でのスタートとなりますが、一部で市況回復の動きも見えることから、市況の動向を的確にとらえ回復の波を業績に取り込むべく、経営に注力してまいります。株主の皆様におかれましては、引き続きご支援賜りますようお願い申し上げます。

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
基準日	定時株主総会 3月31日 期末配当 3月31日 中間配当 9月30日 その他必要があるときは、あらかじめ公告する一定の日
定時株主総会	毎事業年度終了後3か月以内
単元株式数	100株
上場金融商品取引所	東京証券取引所 JASDAQ(スタンダード)
公告方法	電子公告 アドレス: http://www.waida.co.jp/ ただし、電子公告による公告ができない場合は、日本経済新聞に記載して行います。
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社

同事務取扱場所	〒460-8685 愛知県名古屋市中区栄三丁目15番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
電話照会先	三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-782-031 (フリーダイヤル)
同取次窓口	三井住友信託銀行株式会社 本店及び全国各支店
・住所変更、単元未満株式の買取・買増等のお申出先について	株主様の口座のある証券会社にお申出ください。なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。
・未払配当金の支払いについて	株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

お問い合わせ先 株式会社 和井田製作所 経営企画部

〒506-0824 岐阜県高山市片野町2121番地

TEL:0577-32-0390 FAX:0577-37-0020 URL <http://www.waida.co.jp>



第88期の概況

第88期（2016年4月1日から2017年3月31日まで）の工作機械業界は、2015年3月に業界全体の受注総額がピークを記録して以来、弱含んだ状態が続いてまいりました。

当社グループにおきましても、受注回復の足取りは鈍く、工作機械業界全体と同様に第88期は総じて受注が弱含む展開となりました。特に国内においては切削工具関連研削盤の大口需要先で設備投資が一巡したことによる一服感が見られたこと、また海外では中国市場の景気減速が長期化したことから、第88期の業績は売上・利益ともに前期を下回る結果となりました。

第89期の見通し

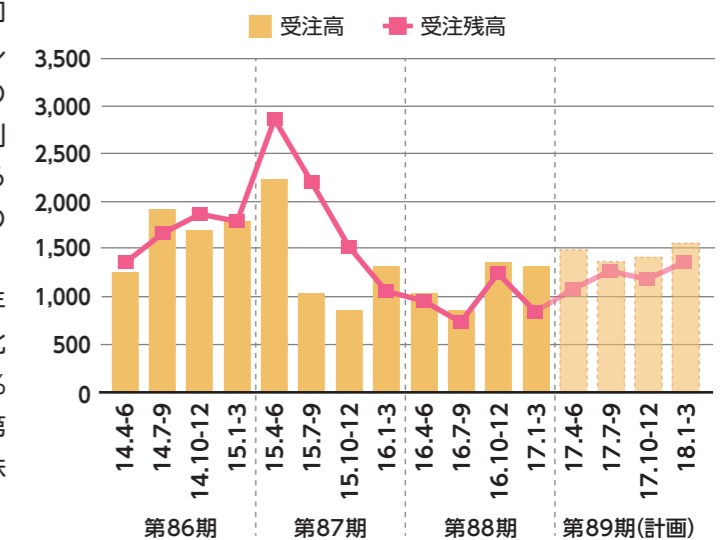
第89期（2017年4月1日から2018年3月31日まで）の当社グループは、期初受注残が低い水準からのスタートとなり、依然厳しい状況が続いております。このため上半期の売上は前期（第88期）上半期を上回るものの、利益についてはほぼ同水準にとどまる見通しです。しかしながら、中国市場で受注が回復するなど市況回復の兆しも見え始めていることから、緩やかながら下半期に向けて売上・利益ともに回復する見通しです。

既に市場に投入した新機種（APX-105, GIG-202, iPG-X）については、市況全体の影響を受け販売台数の立ち上りは

緩やかな伸びとなっておりますが、ユーザーから高い評価をいただき引合も着実に増えていることから、下半期に向けて受注の上積みを見込んでおります。またグローバルニッチトップをめざした取り組みとして、海外展示会への積極的な出展（トピックス参照）を計画しております。利益改善につきましては、第86期から「着実に利益の出せる体質づくり」を目標に活動しており、引き続き改善効果の維持と一層の改善に取り組めます。

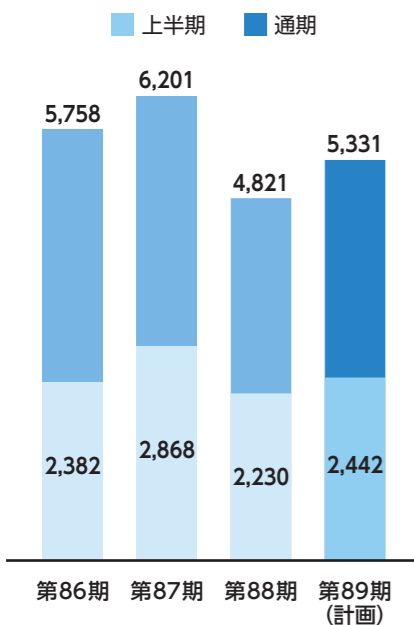
以上の結果、第89期通期の売上高は5,331百万円（前年同期比10.6%増）、経常利益は460百万円（前年同期比47.4%増）、当期純利益は318百万円（前年同期比67.9%増）となる見通しです。なお、配当金につきましては、第89期中間配当金は1株につき5円、第89期期末配当金は1株につき9円（年間では14円）を予定しております。

受注高・受注残高の推移(単位:百万円)

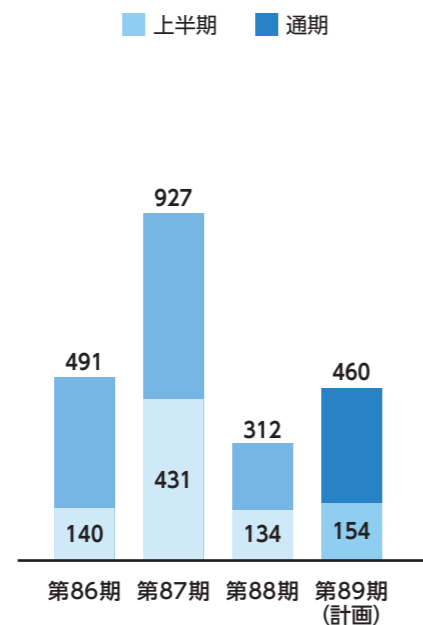


業績ハイライト

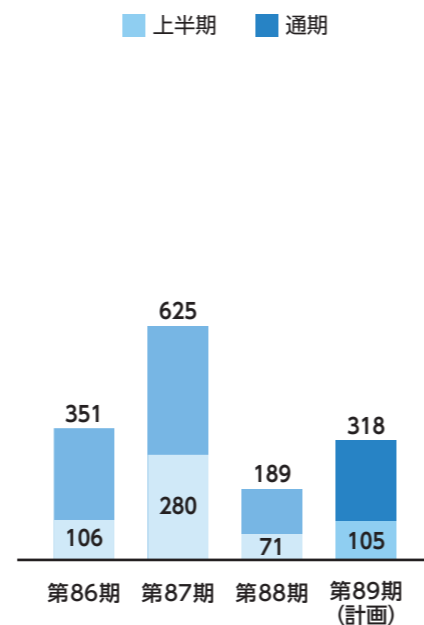
売上高(単位:百万円)



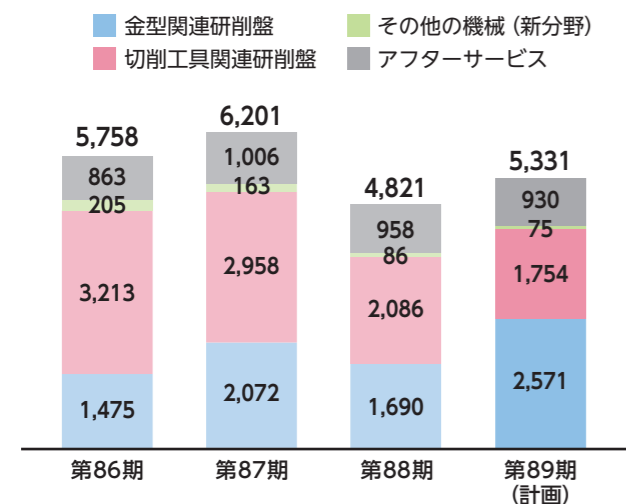
経常利益(単位:百万円)



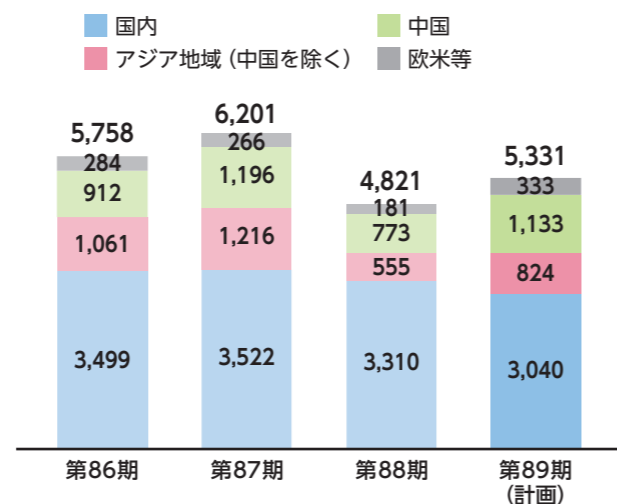
当期純利益(単位:百万円)



品目別売上高(単位:百万円)



地域別売上高(最終据付地にて集計)(単位:百万円)



- 品目別売上高 切削工具関連の需要において一服感が見られ、この傾向は第89期も継続する見通しです。金型関連は第88期後半から受注が上向いてきており、第89期は売上の増加を見込んでおります。
- 地域別売上高 第88期の地域別売上高は国内比率が68.7%に達するなど国内に依存した売上構成となりました。第89期は国内市場が引き続き高い水準にあるとともに、海外市場も中国を中心に売上が増加する見通しです。

トピックス

高山市に時計台を寄贈いたしました

当社の70周年記念事業の一環として、また本社所在地である高山市の市制施行80周年を記念して、高山市に時計台を寄贈いたしました。4月7日には高山市長の御臨席のもと、設置場所であるJR高山駅西口(白山口)にて除幕式を執り行いました。

この時計台には、当社と市民の皆様が歩んできた年月を記念し、さらに市民の皆様とともに未来に向けて時を刻んでまいりたいとの思いが込められております。当社は地域社会も重要なステークホルダーと認識しており、今後も地域の発展に貢献してまいりたいと考えております。

写真は除幕式の様子
右:高山市長 國島芳明様
左:当社会長兼社長 和井田光生



国内外7つの展示会に出展いたします

第89期は国内外7か所の展示会への出展を計画しております。特に海外では“WAIDA”ブランドの一層の浸透と商機拡大をめざし、5か所に出展を予定しております。

- ・国内 2か所
- ・中国(上海、東莞) 計2か所
- ・ドイツ(Hanover, Augsburg, Trossingen) 計3か所

写真は販売提携先であるドイツHaas社での内覧会の様子



※ 記載金額は、表示単位未満の端数は切り捨てて表示しております。
※ 本株主通信では「親会社株主に帰属する当期純利益」および「親会社株主に帰属する四半期純利益」を「当期純利益」として表示しております。